HQPC Exl-UHD

使用説明書

Rev 1.1　2014/3/3 版

iCat INC.　　3550 Paradise Roard Suite 384 Las Vegas NV 89169 USA

米国 iCat 社の製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読み頂き、正しくお使いください。　お読みになったあとは、いつでも見られるよう必ず保管してください。

電気製品は、誤った使い方をすると非常に危険です。
あなたやご家族への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

警告と注意

警告：　誤った使い方をすると、火災・感電などにより死亡または重症をともなうけがの原因となりうる可能性があります。
・電源コードは傷つけないでください。傷ついたコードを使用すると火災や感電の原因となります。
・電源は必ず壁コンセントからお取りください。変圧器やインバーター電源またタコ足配線等は発熱による火傷や故障の原因となります。
・LAN、HDMI などのケーブルは指定のケーブルをお使いください。発熱や火災、故障の原因となります。
・絶対に本機を分解改造をしないでください。
・内部に水、金属や異物を入れないでください。　ペットなどにも充分ご注意ください。
・雷が鳴りだしたら、電源コード、AC アダプター、接続ケーブル、本体にはさわらないようにしてください。　速やかにシステムをシャットダウンして電源を抜くことを推奨します。
・ぬれた手、静電気を帯びた状態で本機に触れないようにご注意ください。
・水蒸気、油煙、埃、磁気の強い場所には設置しないでください。
・ご使用時は常温環境でご使用ください。火、直射日光、炎天下の自動車車内、暖房器具などの高温になる可能性の場所で使用しないでください。
・ケーブル類は端子に埃や異物が付着していないかをよく確認の上、電源ケーブルを抜いた状態で接続してください。　電源プラグは定期的に掃除してください。　埃は火災の原因となります。
・使用時に異常を感じた場合、直ちに電源コードを抜いてください。
小さなお子様、ペットなどにも充分ご注意ください。　事故やけが、故障の原因となります。
・乾電池、ボタン電池は充電、加熱、分解をしないでください。　交換時は必ず指定された新品の電池を使用し極性（プラスとマイナス）を間違わぬよう注意してください。
あやまった電池の使用は液漏れにより火災・けが・財産の消失をおこします。

注意：　誤った使い方をすると、けがや周辺の AV 機器や財産に損害を与える可能性があります。
・本機を設置または持ち運ぶ際は落とさないように注意してください。落下による怪我や故障の原因となります。
・投げる・落とす・衝撃を与えるなどはしないでください。故障およびデーターの消失につながります。
・殺虫剤、シンナー、ベンジン、アルコール、揮発性溶剤などをかけたりお手入れに使用しないでください。
・ゴム・ビニール製品などを長期間接触させないでください。
・設置時は本体の上に物を載せたり、他の機器で囲ったりしないでください。
・放熱を考慮し、通気にご配慮ください。
・アンプの上など、本機に外部から熱を与える可能性のあるものの上に設置しないでください。
・緊急時を除き、本機電源を落す際はシステムのシャットダウンを行った後に電源をおきりください。　運転時にコンセントプラグを抜くことは、システムの損傷、機器の故障が生じます。

１．HQPC Exl-UHD の使用準備

箱から本体.AC アダプター.電源コードを取り出します。

① 入出力端子の確認

フロントパネル

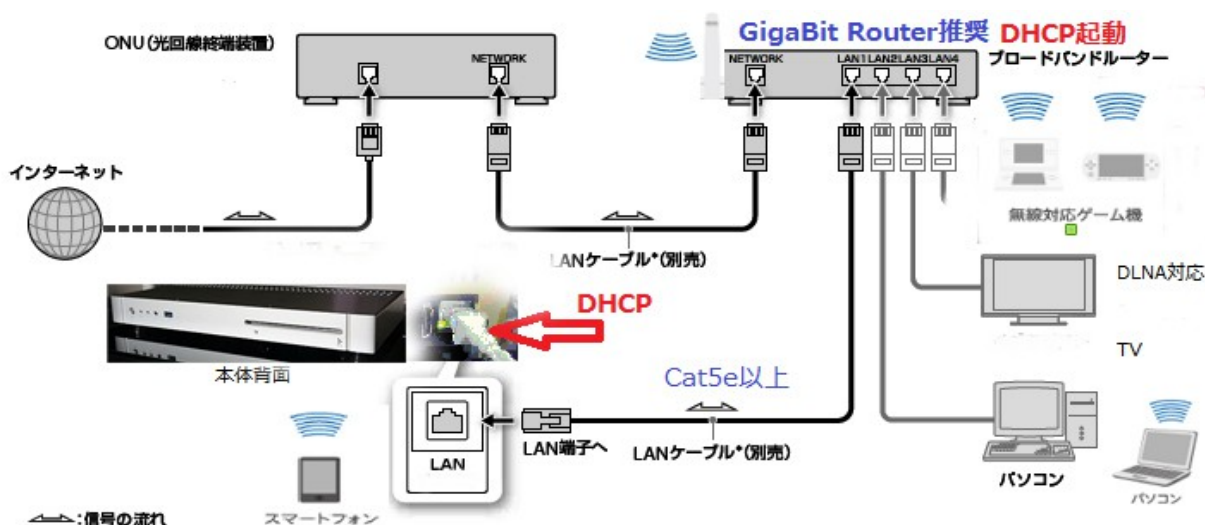
左から、電源スイッチ、パワー LED,SSD アクセス LED、ヘッドホン端子、USB 端子
（フロンUSB 端子はE5L、E3L は USB3.0 、E5L Elite、E1L は USB2.0 ）

DISC 挿入口および左下取り出しボタン

バックパネル

左から、USB3.0,AC アダプター,miniDisplayPort, miniHDMI, LAN ,USB3.0x2
(ElL モデルは、左から USB2.0,AC アダプター,USB2.0 x2 ,HDMI x2 , LAN)

② LAN ケーブルを接続する

本機は、DHCP（自動 IP アドレス付与）にて起動するよう初期値設定されています。
難しい設定は一切不要です。AV アンプ等を接続している同一のルーターもしくは HUB と LAN ケーブルでネットワーク接続端子に下図の様に接続してください。

＊　本機は、ネットワークの通信速度を 1Gbps に高めた高速な Ethernet 規格に対応しております。PC からのファイル転送速度、AV 機器への Media データーの転送に高速規格は有効です。
＊　本機を接続する HUB およびルーターは Gigabit(1000BASE-T)対応した物を使用し、カテゴリー6 の LAN ケーブルを用いてすべての機器が接続されることを推奨します。インターネット回線が 100Mbps 以下の契約であって、TV や AV アンプが 10/100Mpbs 仕様であっても、LAN 内のネットワーク機器およびケーブルを Gigabit 対応にすることで LAN 内のスループットが向上し、また外部回線へのスループットも向上します。カテゴリー6e、7 の 10G 対応の LAN ケーブルはノイズ的には良い方向にありますが伝送速度は Gigabit 環境下では逆にスループットは落ちる場合もあります。

iPad などからリモート接続する場合は、有線/無線両用のルーターの有線ポートと LAN ケーブルで接続し有線/無線とも同一のセグメントで一つのルーターが IP アドレスを割り振っている必要があります。HUB を経由する事は問題ありません。

③　HDMI ケーブルの接続

TV、もしくは PC モニター（スピーカー内蔵）を HDMI ケーブルで接続します。
ケーブルは 3D 対応、オーディオリターン(ARC)対応である TYPE A、Version1.4 以上で片側が miniHDMI コネクターの HDMI ケーブルを使用してコネクターに負荷がかからないように接続してください。TV、Display、アンプの HDMI 入力端子がオーディオリターンに対応していることもご確認ください　HDMI 接続での 4K 映像は規格上 3840x2160＠30Hz までとなります。

注意）
HDMI にて音声を流さず、アナログ音声出力でアンプ等に接続する場合は ARC に対応する必要はありません。　HDMI 出力は ARC 端子でないと音声が流れず映像のみとなります。

注意）
HDMI 変換アダプターと AV 用の太く重い HDMI ケーブルを用いて MiniHDM 端子に接続した場合ケーブル重量に miniHDMI 端子の強度が持たない事が想定されます。
コネクタの破損は補償対象となりません、充分ご注意ください。

＊　mini Display Port
ミニ・ディスプレイポートからの最大解像度は、4K に対応した 3840x2160＠60Hz となります。
ディスプレイ側に DisplayPort が無い場合は、mini Display Port - HDMI 変換アダプターを使用して HDMI 接続が可能です。　この場合解像度は 1080p となります。　HD 解像度で問題がなければ
変換アダプターを用いて HDMI ポートとして使用されることを推奨します。ただし変換アダプターによっては音声出力に対応していな物もあり変換アダプター選択にはご注意ください。

④　キーボード、マウスの接続
初期設定時の際には必要となります。
USB 端子にお手持ちの PC 用 106 または 109 タイプのキーボード、マウスを接続してください。
有線・無線式を問いません。
＊ワイヤー式のキーボードはまれにノイズを発生させます。キーボード不要の際は
抜いておきます。電源が入っている状態でキーボードマウスの USB 端子への抜き差しは問題ありません。

⑤ システムの起動
AC アダプターを電源入力端子に差し込んでください。コンセントは電源容量に余裕のあるにコンセントを使用してください。AC アダプター、LAN ケーブルが確実に接続されているかを確認の上、フロントパネルの電源スイッチを押しシステムを起動します。

システムの起動後しばらくすると XBMC MediaCenter が自動起動します。XBMC の操作方法は 2 項を参照ください。

XBMC MediaCenter 画面左下の電源アイコンをクリックします。メニューから**「終了」**を選択すると通常の Linux デスクトップに入ります。GUI は WindowsXP と同様の感覚でお使いいただけます。

操作方法は https://fedoraproject.org/ja/using/　や Fedora の解説書等の書籍なども参照してください。

⑥ システムの終了

a. XBMC からシャットダウンを行う場合は、画面左下の電源アイコンをクリックしてください。
メニューから**[システム終了・電源を切る]**をクリックすると本機がシャットダウンします。

b. Linux GUI から終了するには、メニューから「終了」「シャットダウン」を選択します。20 秒後に自動的に終了します。お急ぎの場合は画面中央の「コンピューターを停止」をクリックしてください。

c.本体電源ボタンを 1 秒押すと 20 秒後に自動的に終了します。

2. XBMC の操作

XBMC は音楽再生、写真スライドショー、4K/2K 動画再生、DVD/CD 再生、CD リッピング、天気予報
アドオンをインストールする事により、Youtube 視聴など多くの機能を提供するメディアセンター・アプリケーションです。

リモコン操作は、iPad 等タブレットから可能です。 後述の⑦をご参照ください。
設定が終わるまではキーボード、マウスを用いてその操作を行います。

① 音楽を再生する

本機、マイフォルダーのミュージック・フォルダーにサンプル音楽が入っています。
このサンプル曲を再生します。

マウスを用いてメニュータイトルの[ミュージック] その下の[ファイル]にカーソルを移動しクリックします。
ソースリストから[MUSIC]を選択し、表示される曲名をクリックすると再生が始まり、画面にはビジュアライザーが表示されます。 (操作はキーボードの上下左右の矢印キーと ENTER キーでも可能)

再生時は一般的なオーディオプレイヤー同様のボタン・アイコンをクリックし、PLAY、STOP など操作します。
メイン画面に戻るには、ホーム[家アイコン]をクリックします。フルスクリーン・モードにすることも可能です。 戻る場合は ESC キーを押します。

注意） 本機の初期設定は HDMI への音声出力となっています。 音声が出ない場合、3項①を参照ください。

② CD/DVD を再生する

CD/DVD を BlueRay ドライブに入れる事で、メニュータイトルに[ディスクの再生]が現れます。[ディスクの再生]をクリックして再生します。

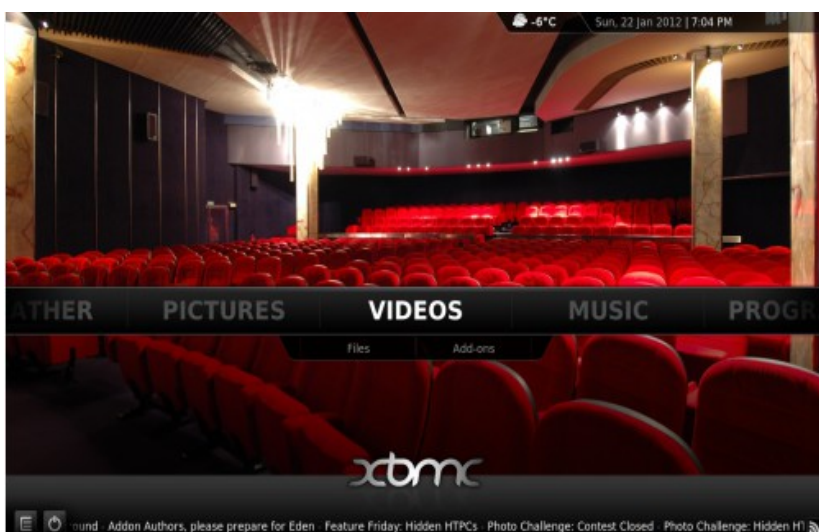
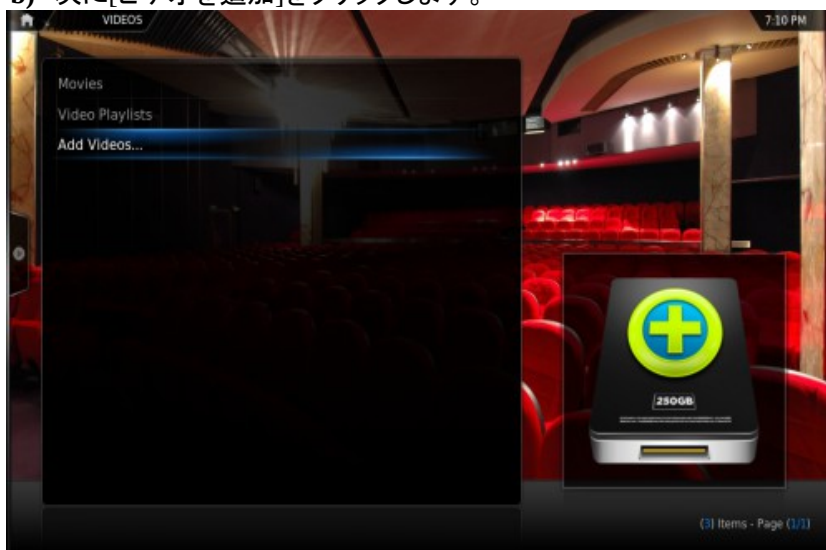
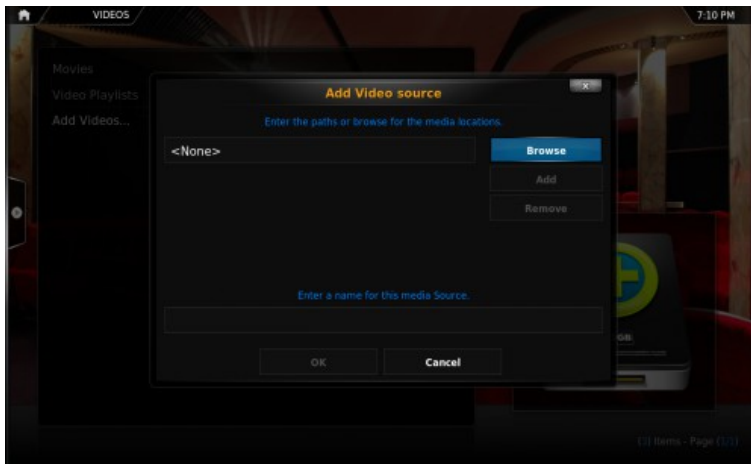
*DISK 再生時の曲名などは DISC によって文字化けする場合がございます。予めご承知おきください。

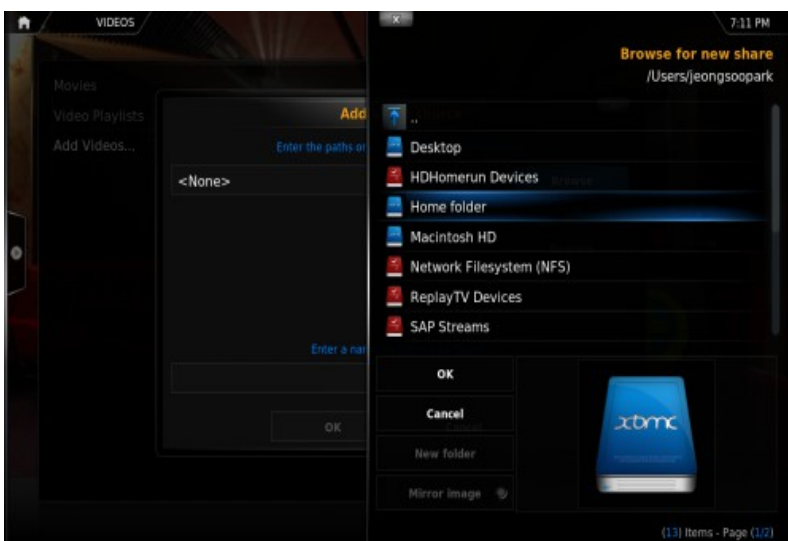
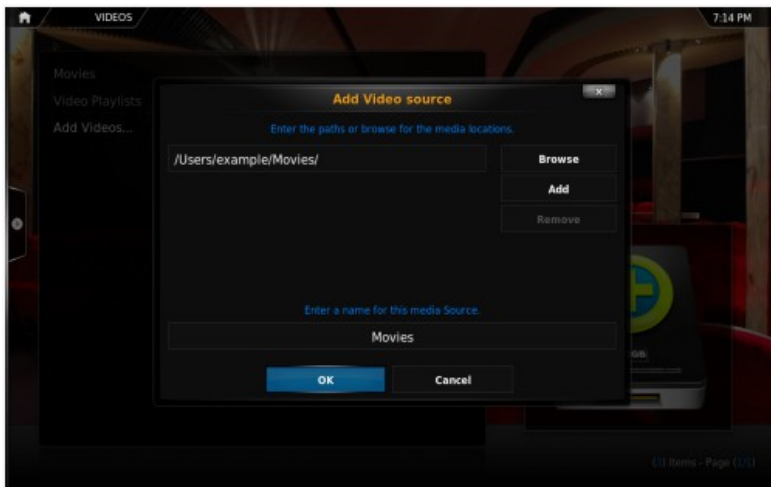
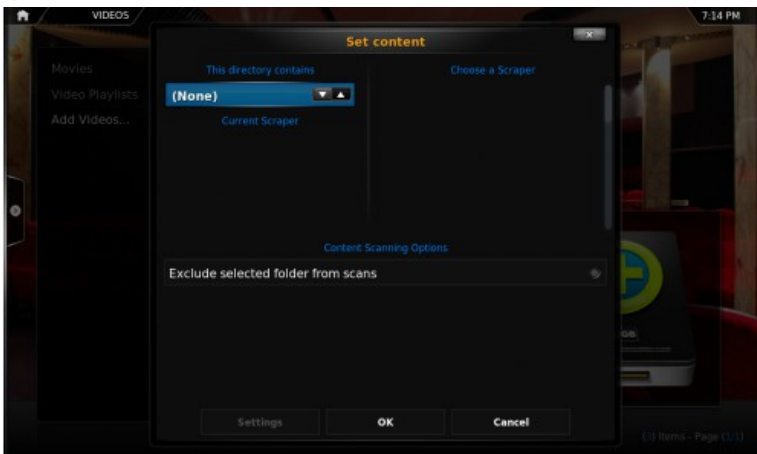
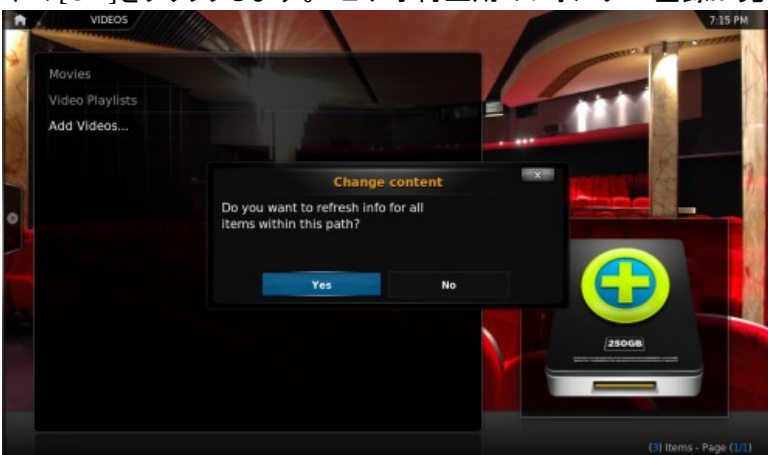
③ システム情報を調べる

メニュータイトルの右端[システム」から[システム情報]をクリックします。
その中に表示されるシステム概要の 2 行目が本機に割り振られた IP アドレスです。
また、ハードディスク、ネットワーク、システムなど本機の情報を調べる事ができます。

注意） XBMC の基本的な設定は完了しています。 設定内容を理解されるまではシステムの設定値は変更しないようにしてください。 特に言語および FONT を変更すると文字化けします。文字が読めないためにもとに戻せなくなる可能性があります。 初期値はメモをしておいてください。

④ ライブラリに動画を追加する

a) ホーム画面のメニューの[ビデオ] [ファイル]にカーソルを移動させクリックします。

b) 次に[ビデオを追加]をクリックします。

c) 次に「参照」ボタンをクリックします。

d) ビデオソースの場所が表示されます。ビデオを保存しているドライブが D:ドライブであれば DESKTOP から D:ドライブを選択し登録を行うファイルが入っているフォルダーを選択し[OK]をクリックします。

ネットワークドライブ（SMB)や他の PC 上のファイルを取り込む際には、ネットワークファイルシステムを選択し対象のデバイスを選択し目的のフォルダーを指定します。 DLNA 対応サーバーのファイルを取り込む際は UPnP Device を選択し同様に目的のフォルダーを指定します。

e) 選択したメディアのパスが表示されます。 [ソースの名前を入力してください]の下段ををクリックしソースの任意の名称を入力します。 デフォルトで「Videos」と表示されます。そのままの名称で良ければ[OK]をクリックします。

f) コンテンツの設定が可能な場合は、下図が表示されますが、そのまま[OK」をクリックします。

g) 再度 b)のファイルの追加に戻ります。 追加ファイルが無ければ下の[OK]をクリックします。 ビデオ再生用のフォルダー登録が完了です。

⑤ ライブラリに音楽を追加

ビデオ同様に a) ~ e) の画面が表示されます。 メニュータイトルの[ミュージック] [ファイル]から[ソースの追加]で音楽フォルダーを選択し登録してください。対応フォイルフォーマットは、mp3、flac、wav、wam です。

* DSD や AAC には対応していません。 HQPlayer を使用してください。

⑥ 写真を追加

ビデオ同様に a)~e) の画面が表示されます。 メニュータイトルの[ピクチャー] [アドオン][。。] [ソースの追加]から写真フォルダーを選択し登録してください。

注意） 音楽、静止画、動画のコンテンツは、D:ドライブにディレクトリーを作成し、その中にコピーしてご使用ください。

⑦ リモコンの使い方

もっとも簡単な方法でリモコン操作ができるかをテストします。

メニュー・バーの右端[システム]、[システム情報]をクリックします。

概要情報に本機の DHCP から付与された IP アドレスが表示されます。

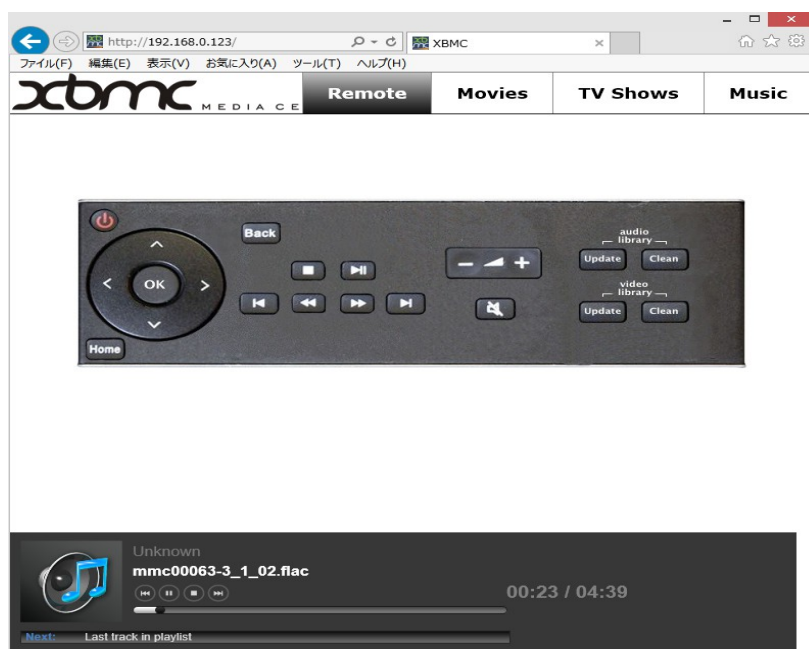
この IP アドレスは、リモートデスクトップ等の設定でも必要となります。 必ずメモをしておいてください。

PC や iPad のブラウザーから IP アドレスを入力し本機に接続します。

例） http://192.168.0.123/ ＜ーー概要情報に表示されたアドレスを入力

ブラウザーに表示された XBMC ロゴの横の[REMOTE]をクリックするとリモコンの画像が表示されます。

このリモコンのボタンをクリックすることで、再生、ボリューム調整、STOP、早送り等の操作が可能です。

赤い電源ボタンを押すと本機がシャットダウンして電源が落ちます。

多くの XBMC 対応のリモコンアプリが存在します。 iPad 等や Android タブレットからの操作には xbmcRemote などのアプリが使用可能です。 お好みに応じて、Apple Store や Google Play から”xbmc”でアプリ検索を行い、ダウンロードしインストールしてください。

⑧ **XBMC の自動起動**

本機は起動時に[XBMC]が自動起動します。 自動起動するメディアセンターソフトを[JRiver Media Center]に変更したり、通常の Windows デスクトップ起動するには Windows メニューから[プログラム] [スタートアップ]を選択し、スタートアップ内の XBMC を削除してください。

新たに[JRiver Media Center]を自動起動させる際には、このスタートアップに JRVier を登録してください。

JRiver の実行ファイルは、[C:ドライブ] [Program Files(x86)] [J River Media Center 19] [Media Center 19.exe] です。

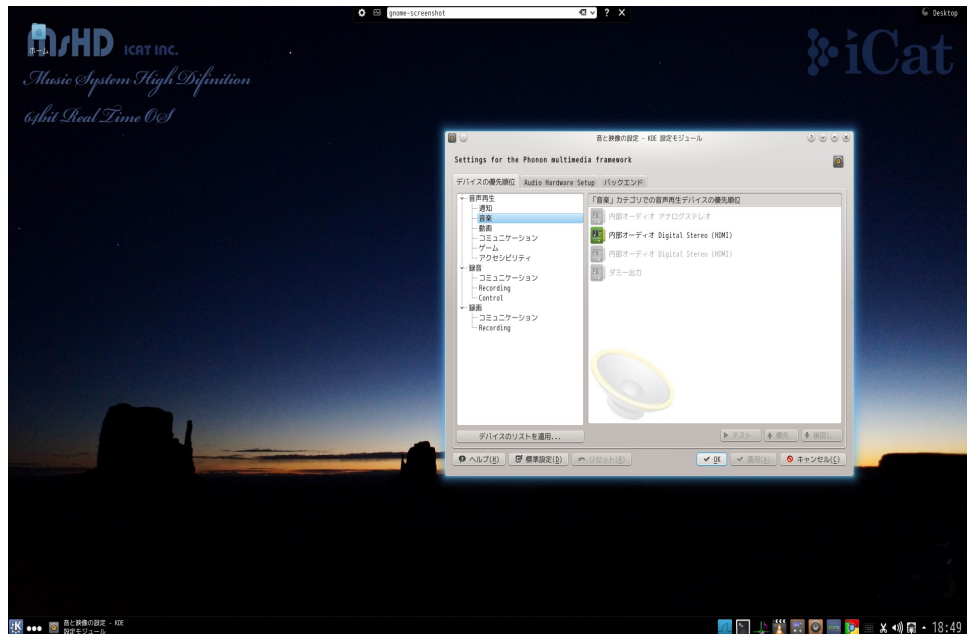
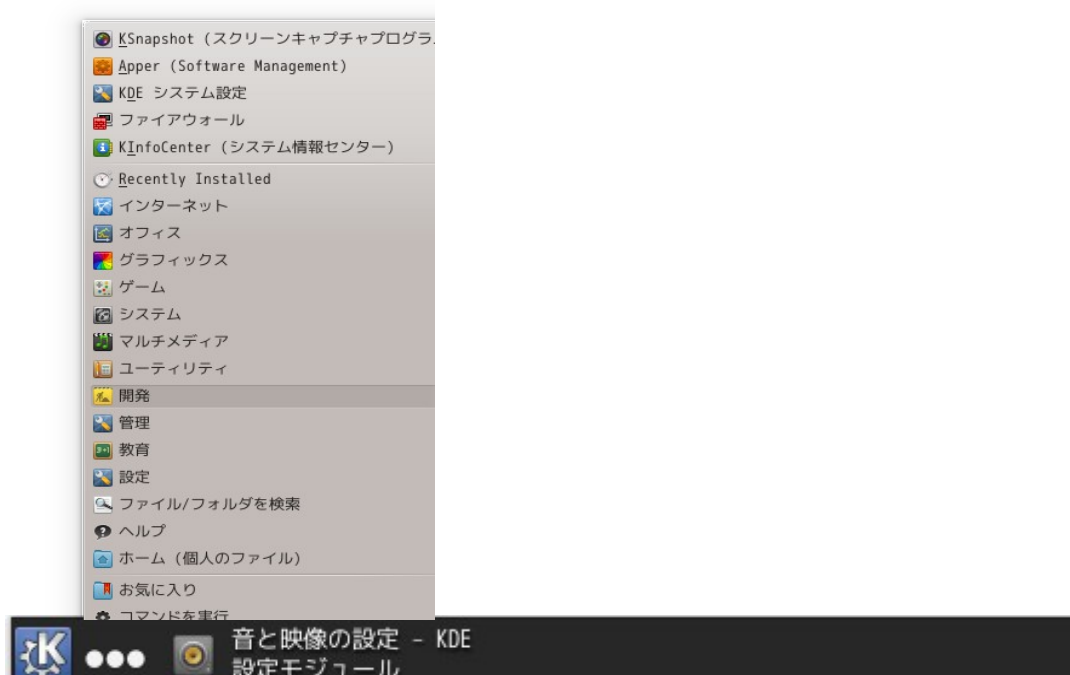
⑨ **XBMC** の使用方法の詳細は下記にアクセスしてください。

http://wiki.xbmc.org/
* Google Chrome でアクセスすると自動翻訳も使用できます。

Linux PC Audio として活用する

3. 操作

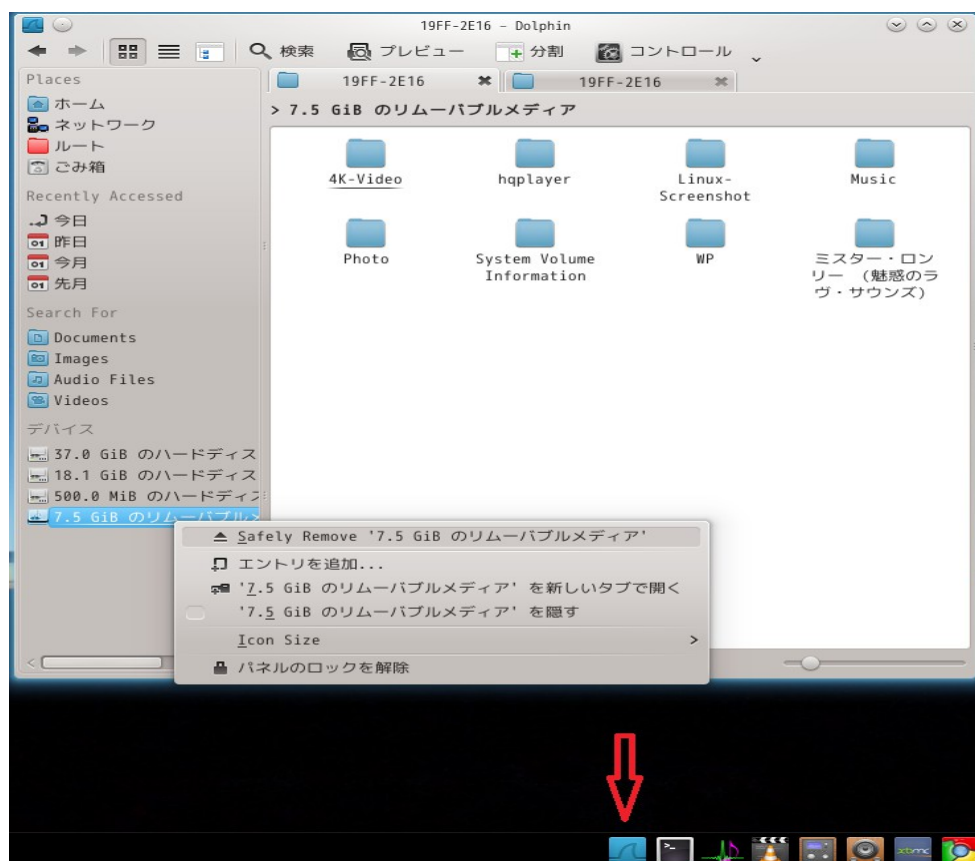
① デスクトップの操作

XBMC MediaCenter 画面左下の電源アイコンをクリックしてください。
メニューから「終了」を選択すると Linux デスクトップに入ることができます。

操作は WindowsXP と同じ感覚でお使いいただけます。　下図のように[K]のメニューアイコンをマウスで左クリックすると下段の図のメニューが表示されます。
音楽関係のプレイヤーソフトはマルチメディアの中にあります。

②　ファイルの操作

基本的なファイルの操作は、Dolphin を使用します。　起動は画面左上　ホームフォルダーをマウス左クリック（1 回クリック）で開くか、メニューバーから下図赤矢印の Dolphin アイコンをクリックし起動します。その他基本ファイル動作は Windows とエクスプローラーと共通です。
注意）クリックは基本 1 回です。

日本語の入力は画面右下ハサミアイコンの左側のキーボードアイコンをクリックし[日本語-Mozc]選択します。　キーボードアイコンが「あ」に変更されます。
英文・かなの切り替えは「半角/全角　漢字」キーにて行います。

音楽ファイルを右クリックし[アプリケーションで開く]から VLC など再生ソフトを選ぶことで音楽の再生操作も可能です。

USB メモリーなどを取り出すときは、下図のようにデバイスをクリックし文字を反転させそのまま右クリックし　[Safety Remove]をクリックすることで安全に取り出すことができます。

３．音声出力先設定

①　BIOS 設定による音声出力先変更方法

BIOS によって内蔵音源デバイスを ON/OFF することで煩雑な音声出力先設定を不要にすることが可能です。ディフォルトは HDMI 出力でアナログ音源は止めています。

アナログ出力
1.電源投入後、間もなく画面右下に　F2 などファンクション入力が可能となった時点で、F2 キーを押す
2.ビジュアル BIOS が表示されたら、メニューバー　の Advanced　（カメラアイコンの左）をクリックする
3.次に　Devices をクリックし、　Onboard Devices　をクリックする
4.Onboard　Device Configuration の　Audio に　✔を入れる
　Onboard　Device Configuration の　HDMI/DisplayPoer Audio の　✔を抜く
5. 画面右上　インテルロゴ下の　○中に X　をクリックし　Yes　をクリックしセーブして終了する。

HDMI 出力
1.電源投入後、間もなく画面右下に　F2 などファンクション入力が可能となった時点で、F2 キーを押す
2.ビジュアル BIOS が表示されたら、メニューバー　の Advanced　（カメラアイコンの左）をクリックする
3.次に　Devices をクリックし、　Onboard Devices　をクリックする
4.Onboard　Device Configuration の　HDMI/DisplayPoer Audio に　✔を入れる
　Onboard　Device Configuration の　Audio の　✔を抜く
5.画面右上　インテルロゴ下の　○中に X　をクリックし　Yes　をクリックしセーブして終了する。
音声出力先のデバイスを再度選んで、プロパティ、詳細をクリックします。
サンプルレートとビットの深さをメニューから選択します。

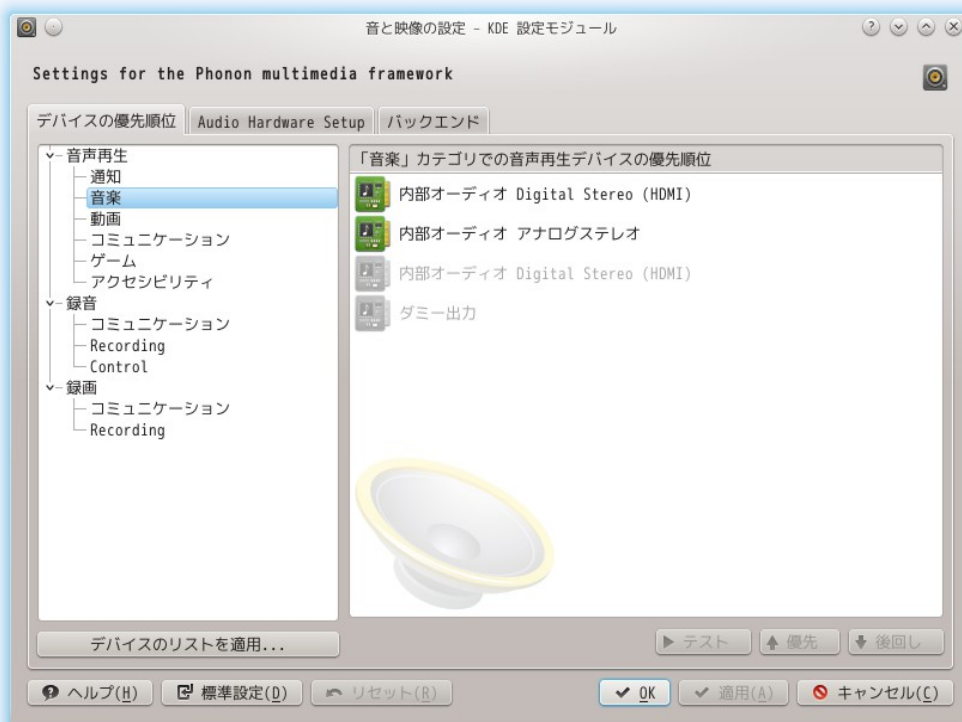
USB DAC 出力

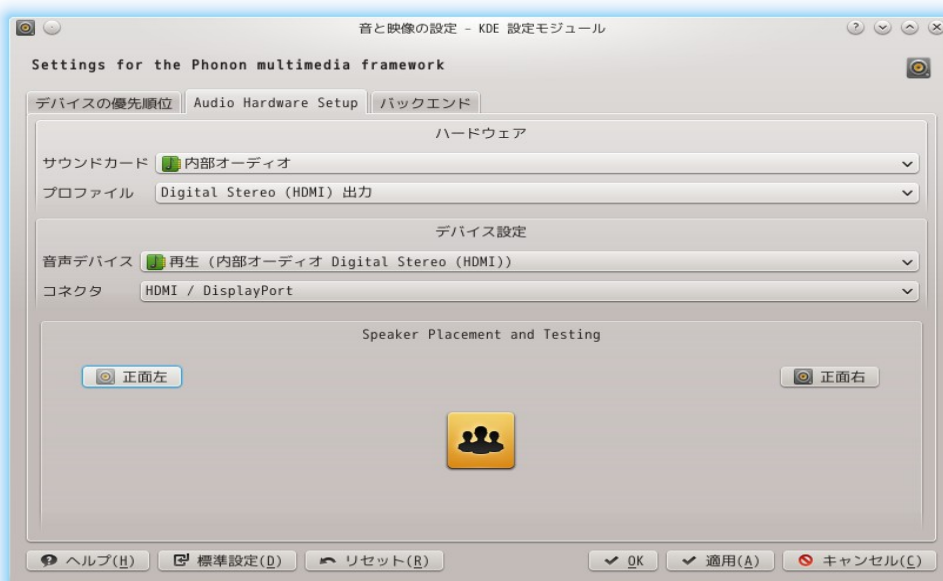
USB DAC を接続し DAC から音声出力をする場合は、HDMI,Audio ともに停止します。
　Onboard　Device Configuration の　HDMI/DisplayPoer Audio に　✔をを抜く
　Onboard　Device Configuration の　Audio の　✔を抜く

②　起動後システムの設定にて音声出力先を変更する。

　Onboard　Device Configuration の　HDMI/DisplayPoer Audio に　✔を入れる
　Onboard　Device Configuration の　Audio の　✔を入れる

GUI 画面右下のメニューバーにスピーカーアイコンがあります。（はさみアイコンの右横）このアイコンにカーソルを移動しマウスの右クリックを行います。

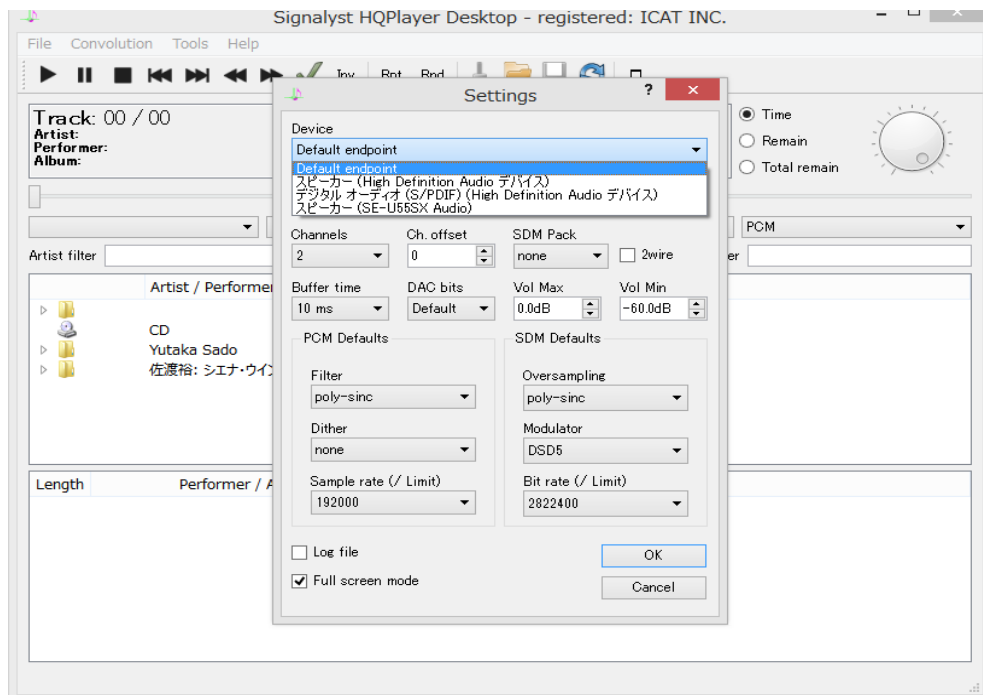
メニューから「オーディオ設定」をクリックすると下図の様な音と映像の設定画面が開きます。

デバイスの優先順位においてリストから音楽を選ぶと右枠に音声再生デバイスが表示されます。
利用可能なデバイスは緑色で表示されます。通常は内部オーディオ　Digital Streo (HDMI)が２つとアナログステレオそしてグレー表示されるダミー出力が表示されています。

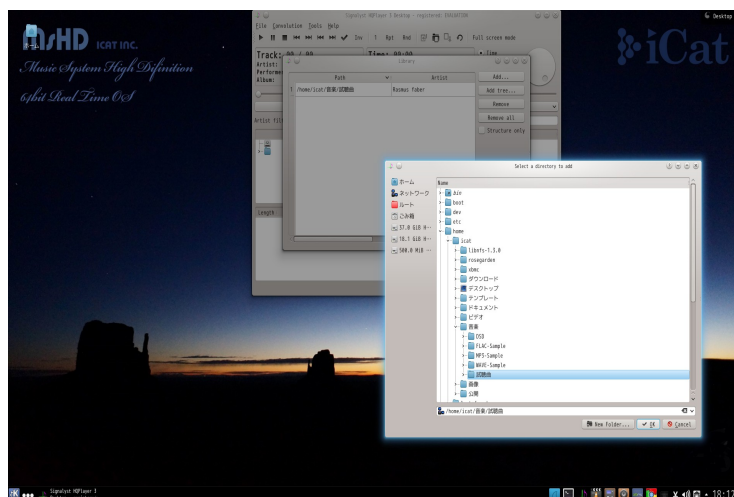
ヘッドホン端子に音声を出す場合はアナログを HDMI から出力する場合は HDMI を選択し、ウィンドウの下側の「↑優先」で出力先のデバイスを最上段に持ってきます。
次に、Audio Hardware Setup を選択します。下図の様に表示されます。

例ではHDMIに出力させるために、ハードウェアにおいて、[内部オーディオ]、プロファイルは[Digital Stereo (HDMI)出力]を選択します。　デバイス設定においては音声デバイス[再生（内部オーディオ　Digital Stereo (HDMI)）]、コネクタは [HDMI/DisplayPort]となります。

注意）DisplayPortもサウンドデバイスとしてはHDMIと認識されます。
　　接続されていないデバイスは有効になりません。設定データーは再起動後に有効になります。
注意）動画再生においても同じデバイスを使用する際には音楽とともに動画に関しても同様の設定を行ってください。　音楽再生アプリケーションによっては独自に音声出力先を設定可能なソフトも存在します。例）VLC：アプリケーション側で音声出力デバイスがデフォルトになっている場合は、システム側の設定で音声出力が切り替わります。アプリケーションから音声出力を別デバイスに指定している場合は、アプリケーション側が優先され共に同じデバイスを指定していなければ音が出ない場合があります。
注意）同時に再生ソフトが起動している場合、音声出力デバイスを先に起動したアプリケーションが占有し、再生デバイスを見つける事が出来ない場合があります。
USB DACを接続しDAC経由で音を出す際も、音声出力先をDACに変更する必要があります。

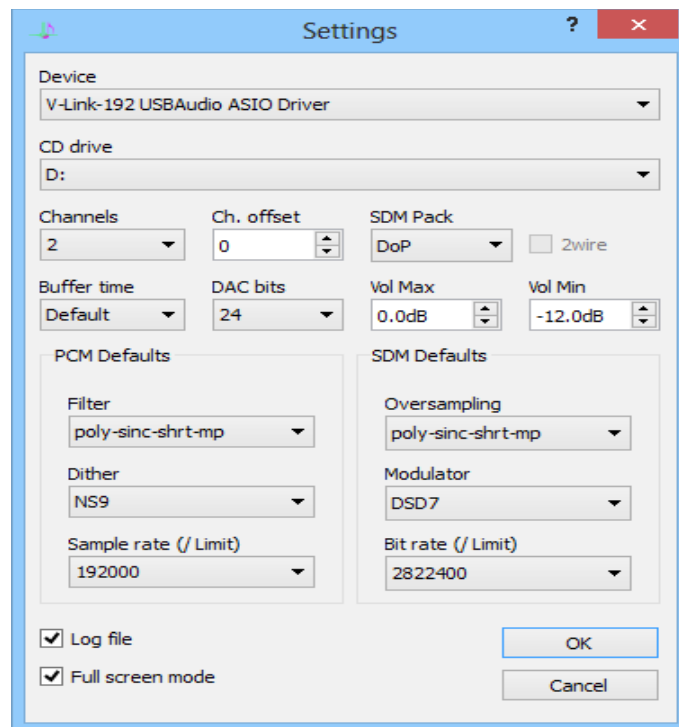
５．プレイヤーソフトの簡易操作、音声出力設定

①　HQ Player

本機専用のHQ PlayerはすべてのExLモデルにプレインストールしております。
アプリケーション起動時30分間の再生が可能な評価版であることのメッセージが表示されます。
次に　Waring Failed to open audio device. Please check settingと表示された場合は[OK]をクリックして音声再生デバイスの設定を行います。通常は[HDA Intel MID: HDMI 0]、 [HDA Intel MID: HDMI1] 、[HDA Intel PCH: ALC283 Analog]の何れかで、DACを接続しているときはDACの名称が表示されます。　デバイスを選択し[OK]でウインドウを閉じます。　この作業は[File][Settings...]からも行えます。

[File]から[Library]を選びます。単独ディレクトリーをライブラリーに登録する場合は
[Add...]、ディレクトリーを階層ごと登録する場合は[Add tree..]を選びそれぞれフォルダーを選んで
[OK]で登録します。　ライブラリーに登録されると Player 中段にフォルダーが表示されますので
フォルダーを 1 クリックするとそのフォルダーのすべての曲が下段プレイリストに表示されます。
プレイボタン　▶　をクリックすると再生が始まります。

画面右上の丸いダイアルはボリュームでマウス操作で音量調整が可能です。
Full Sceen mode を選択すると画面全体にアルバム表示することが可能です。

Elite モデルはライセンスコードが付属していますが、お客様にてライセンスのコードを
入力頂く必要がございます。最初は評価版で再生してみましょう。
Elite モデル以外は試用版となり、30 分のみの再生が可能です。
E1L モデルは CPU パワーの問題で DSD5.6MHz のファイルは再生ができません。

Setting メニューの PCM Default の Sample rate で出力レートを選ぶことができます。

一般的な 192K にみならず USB DAC が追従すれば 1536K まで使用できます。
DSD も一般的な DSD5 のみならず DSD5.1、DSD7、DSD5.1 256+fs, DSD7 256+fs なども扱え,
Bit Rate は最大 24576K です。将来への備えも万全です。

ライセンスが別売となるモデルの場合は、iCAT Direct から別途ライセンスをご購入ください。
その場合、お使いのシステムの ID をベースにライセンス発行する必要がります。
システム ID は次の手順で調べてください。
コンソールウィンドウを起動します。　[icat@linuxpc ~]$ と表示されます、キーボードから
icat-id と入力し Enter キーを押します。
コマンドの次の行に数字と文字・記号のだ列が表示されます。　この文字列を間違いなく弊社にお知らせください。　この文字列をベースにライセンスの発行を行います。ライセンスの発行には数日を要します。

その他アプリケーション使用方法、フィルター操作に関してはクイックスタートガイド
専用マニュアル（英文）をご参照ください

http://www.signalyst.com/quickstart.html

② VLC media player

多くのメディアコーデックおよびビデオフォーマットに対応した、ネットワークストリーム、マルチメディアプレーヤーです。

フォーマットに関しては下記 URL を参照ください。
http://www.videolan.org/vlc/features.html

使用方法は下記 URL を参照ください。
https://wiki.videolan.org/Documentation:Play_HowTo

使用説明は英文です、日本語が必要な方は Google Chrome ブラウザーを起動し URL にアクセス後 WEB 上で自動翻訳をお使いください。

VLC 設定で注意が必要な個所

オーディオ設定

オーディオに関する音量、出力モジュール、エフェクト（ドルビーサラウンドのオン／オフ、ボリュームの均一化、オーディオの視覚化）などの設定が行えます。

[Tools] [Preferences]を選択し設定画面を表示します。

Audio を選択し Output module を確認します。　初期値は ALSA Audio output となっています。その下の Device は初期値 Default となっています。デバイスとして HDA Intel PCH,ALC283 Analog Default Device や HDA Intel MID,HDMI 0 Audio Output、HDA Intel MID,HDMI 1 Audio Output でダイレクト指定も可能です。この場合 BIOS でデバイスが有効になっている必要がります。USB DAC など他の音源デバイスを接続した場合は出力先デバイスを変更する必要があります。　適切なデバイスを選択します。

ビデオ設定

ディスプレイ （全画面表示、常に手前に表示、コマ落ちの許可、ビデオ出力 ）、インターレース、アスペクト比などの設定とビデオスナップショット画像の保存先ディレクトリとフォーマット（PNG 又は JPG) の設定を行うことができます。

調整とエフェクト

VLC media player のメニューバーより [ツール] → [エフェクトとフィルター] 又は [トラックの同期化] を選択すると調整とエフェクト画面が表示されます。

オーディオエフェクト

グラフィックイコライザー、スペーシャライザーによるオーディオの音質調整

ビデオエフェクト

ビデオの色相、コントラスト、明るさ、彩度ガンマ値調整やクロッピング位置（上下左右）調整、ジオメトリのアングル位置調整などのビデオ品質調整

ALSA オーディオ出力を選択し、デバイスとして HDA Intel PCH,ALC283 Analog Default Device や HDA Intel MID,HDMI 0 Audio Output、HDA Intel MID,HDMI 1 Audio Output でダイレクト指定も可能です。この場合 BIOS でデバイスが有効になっている必要がります。
http://www.videolan.org/vlc/index.ja.html

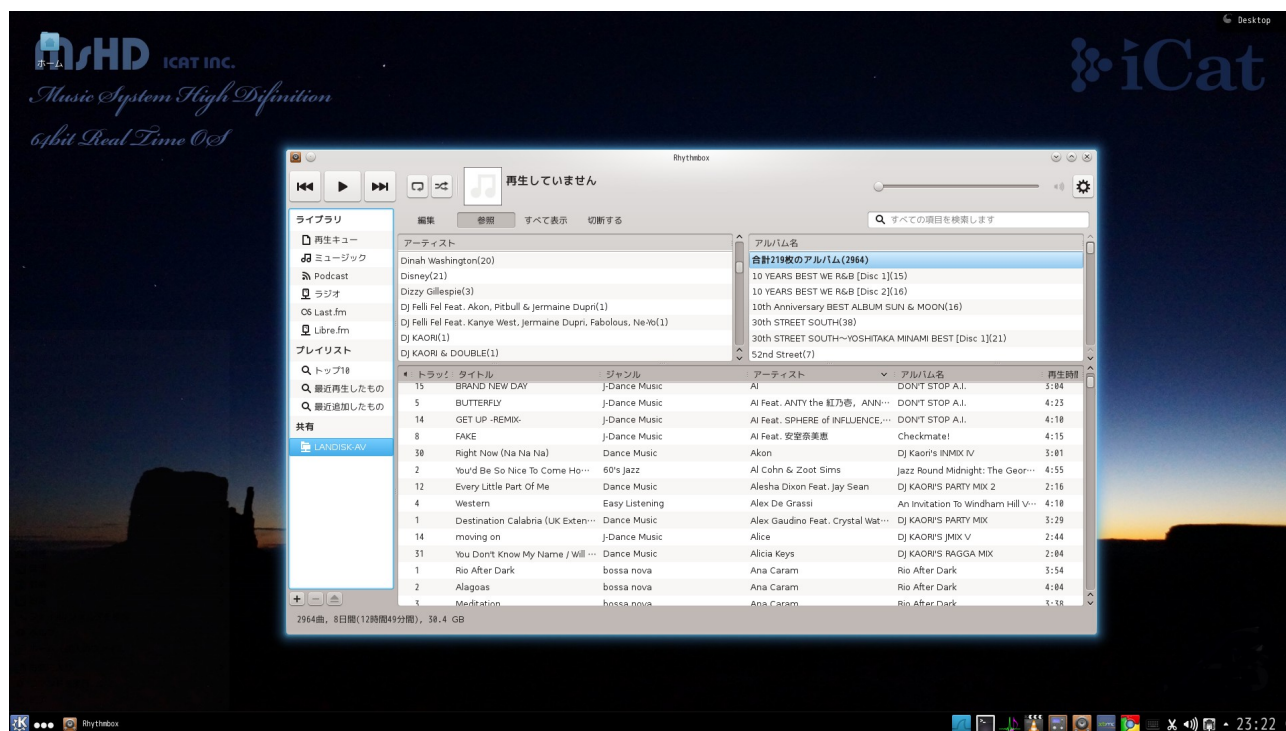
再生可能なフォーマットは下記をご参照ください
http://www.videolan.org/vlc/features.html

使用方法は下記 URL を参照ください。
https://wiki.videolan.org/Documentation:Play_HowTo

使用説明は英文です、日本語が必要な方は Google　Chrome ブラウザーを起動しサイトにアクセス後 WEB 上での自動翻訳を実行しお使いください。

③　Rhythmbox

iTunes 互換のプレイヤーソフトで、iTunes Server (DAAP 共有) も認識します。
Rhythmbox3.0.1 には CD からリッピングする機能がありライブラリを充実させます。CD を挿入すると自動的に認識します。MusicBrainz!に登録されている CD の場合は自動的にデータを取得します。デフォルトのエンコード形式は FLAC になっていますが変更することができます。[☼]-[設定]-[ミュージック]タブ-[フォーマット]です。

- FLAC 、Ogg Vorbis 、Ogg Opus、Mpeg Layer3 Audio、Mpeg4 Audio

リッピングと音楽ファイルの保存場所

[設定]でライブラリーの場所（ディレクトリー）を指定します。

音楽ファイルの置き場は前述のとおり/contents/audio を指定してください。

＊表示される[音楽]フォルダーは、システムの SSD 内に存在します。このフォルダーにはテスト時以外の音楽ファイルは保存しないようにしてください。

[ライブラリに追加]をクリックするとすべての収録曲のリッピングが開始されます。

ライブラリー　再生キュー

エンコードされた音楽ファイルは、自動的に登録されます。アルバムやアーティスト単位で再生するのが一般的だと思いますが、いろいろなアルバムやアーティストをランダムに聴きたい場合は、[再生キュー]を使うと便利です。再生キューに追加したい曲を右クリックし、[再生キュー]に追加する]をクリックしてください。ソース・リストにある[演奏キュー]に追加されます。ここに追加された曲は、再生されると消えていきます。

プレイリスト

[再生キュー]はあくまで一回再生したら消えてしまいますが、これを恒久的に残しておきたい場合は[プレイリスト]を使うと便利です。[ミュージック]で追加したい曲を右クリックし、[プレイリストに追加する]-[新しいプレイリスト]を選択し、プレイリスト名に名前をつけます。

インターネットラジオ

Rhythmbox には、あらかじめ数局のラジオ局がプリセットされており再生することができます。[ブラウザ]を右クリックすると[新しいインターネットラジオ局]というメニューが出て、新たに追加することもできます。

共有

Rhythmbox には、他の iTunes サーバーが存在する場合その音楽を再生することが可能です。

サウンドデバイスが複数ある場合

USB DAC を接続している場合は、サウンドデバイスが 2 つ存在します。通常は内部オーディオ Digital Stereo (HDMI)に音声出力されます。USB DAC 経由に切り替えたい時は、のスピーカーアイコンを右クリックしてサウンドの設定ウィンドを開きます。　[出力]選択し表示されているサウンドデバイスを選択してください。

＊USB DAC を接続していても表示されないデバイスはシステム側で認識できていません。

使用方法の詳細は下記を参照してください。

https://help.gnome.org/users/rhythmbox/stable/

④　CD Paler KsCD

シンプルな CD プレーヤーソフトです。

⑤　Amarok

Amarok は、豊富な機能を備えたプレーヤーです。ライブラリーの管理を容易にし、自動的にファイル情報やカバー画像を取得し、かつ Jamendo、Last.fm、Magnatune、Librivox のようなサービスとビルトインで互換性があります。また完全にカスタマイズすることもでき好きなように外観や配置を変更できます

６．システムアップデート

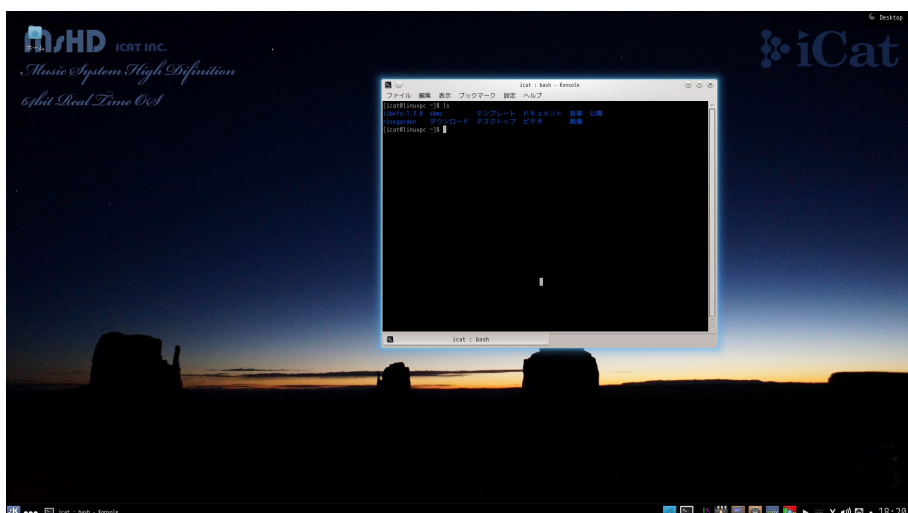
Windws Update に相当するシステムのアップデートの方法です。

名メニュー（アプリケーションランチャー）から[管理] [Apper (Software Management)]を起動する。

Lists の中の Updates アイコンをクリックします。　必要な Updates が見つかれば適応をクリックします。　ファイルがダウンロードされインストールされます。

注意）linux は Windows と異なり多くのボランティアが各モジュールのアップデートを行っています。その為モジュール間の整合性のテストが充分ではない場合があります。　安定して動作する事の確認が取れるまで無闇にアップデートするのは避けてください。　脆弱性や緊急を要するアップデートがある場合で動作に問題がないと確認できた場合、弊社 Facebook にて告知いたします。

７．システム・シェル　（コマンド）

通常ご使用になることはないかと思います。
しかしながらコマンドが使えると色々な利便性があります。

８．　USB DAC の接続

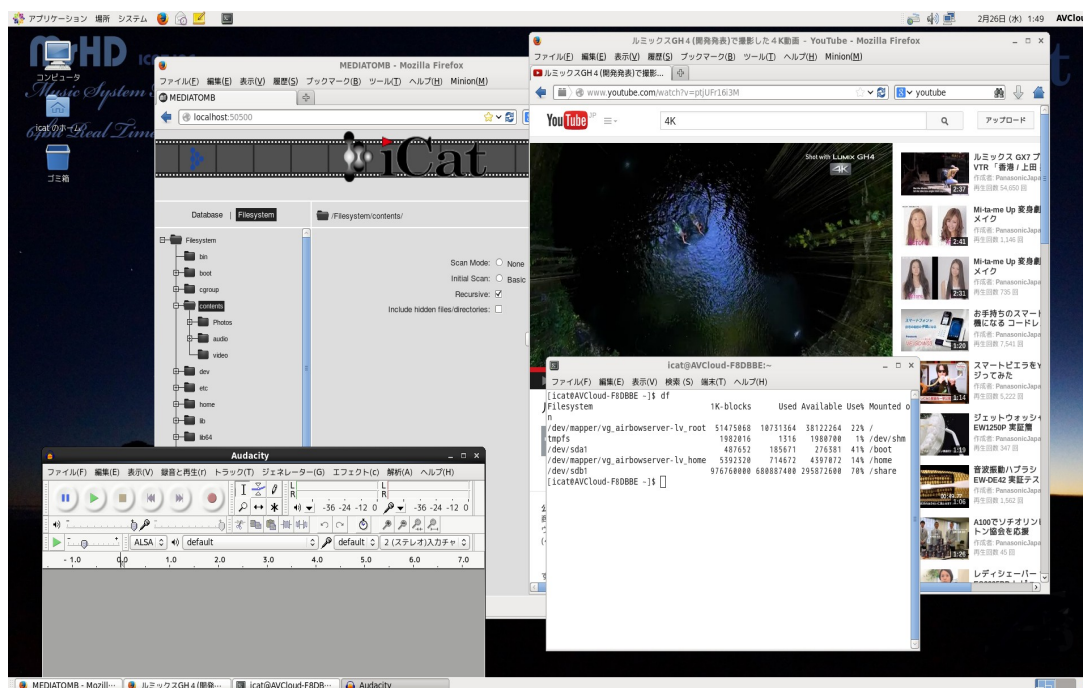
USB　DAC は ALSA 対応である必要性があります。

事前に DAC メーカーに Fedora での実績をお問い合わせください。

他の Linux で動作していてもその動作保証はできません。

９．リモートデスクトップの接続設定

+ HQPC 単独でご使用の方はこの作業は不要です。

本機を HTPC シリーズおよび一般 WindowsPC からを操作する場合、下記手順に従って必要なアプリケーションを Windows PC にインストールしてください。

例）AVCloud シリーズ GUI 画面

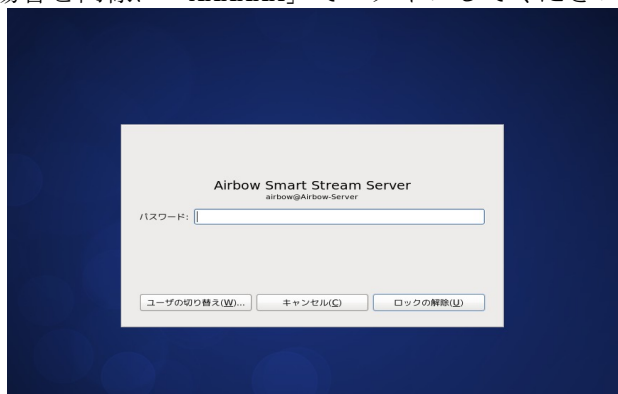
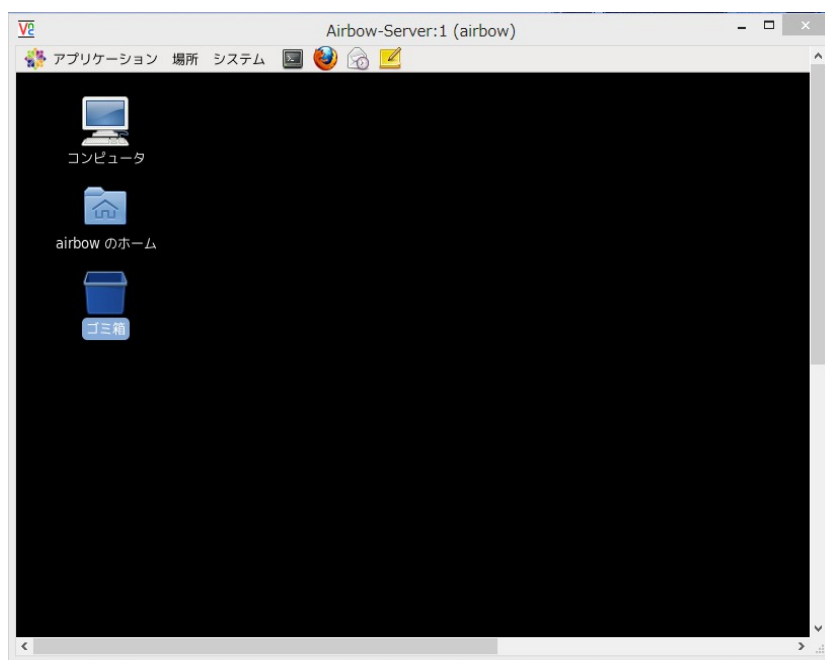
①　HTPC シリーズおよび Windows PC の VNC クライアント・インストール

VNC クライアントソフトは、HQPC および AVClould シリーズのデスクトップ画面の
リモート操作を行うためにインストールします。

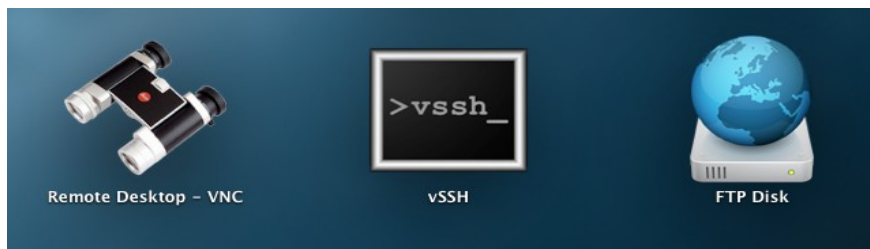
a.下記 URL からソフトウェアをダウンロードしてンストールしてください。
http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se324464.html
＊本機をサーバーとはしないので、VNC ビューワのみインストールしてください。

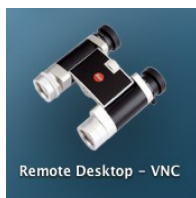
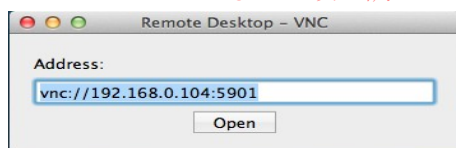
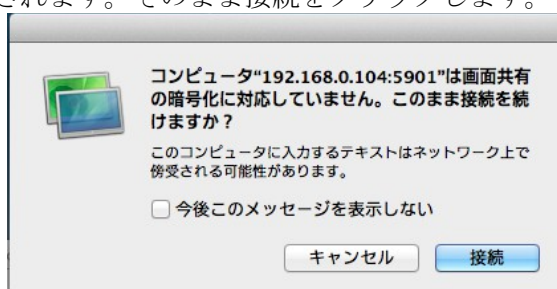
b. インストール後 VNC ビューワを起動すると下記のようなログイン画面が表示されます。
Server に「**192.168.XX.XX : 5901**」とサーバーの IP アドレスを入力してください。
続いてパスワードを入力します。「xxxxxx」
＊例）　192.168.100.30:**5901**　＜－－事前に調べた IP アドレスで必ず入力する。

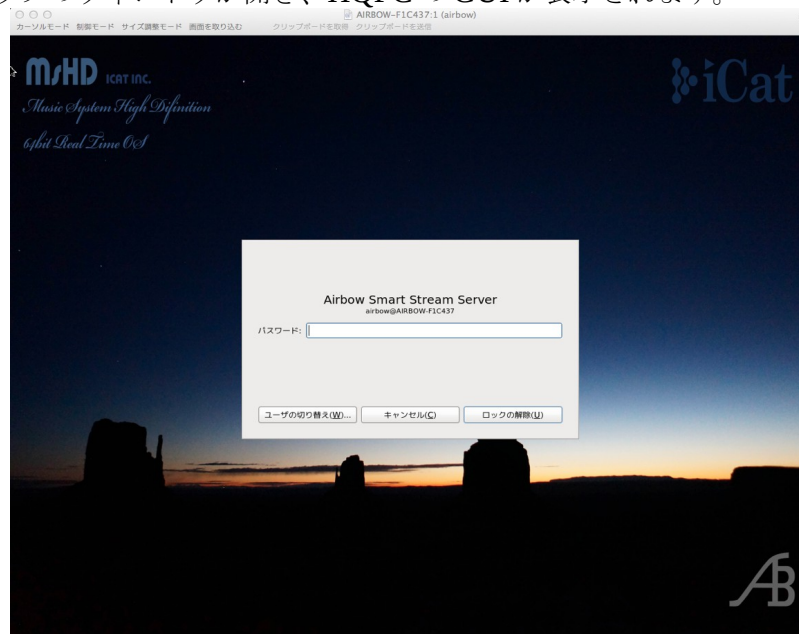
IP アドレスは XBMC の画面の[システム][システム情報]の概要情報として
調べる事ができます。

Server 側のデスクトップのウィンドウが開きパスワードが求められます。
直接ログインする場合と同様に「xxxxxx」でログインしてください。

c. ログインが完了すると本機のデスクトップウィンドが開き PC の画面にてマウスとキーボードを用いてリモート・デスクトップをご利用いただけます。通常は XBMC の画面が起動します。　本機での直接の操作時と同じく、XBMC を終了すると Linux　GUI に入ります。

＊注意：固定 IP アドレスへの変更などシステム変更を伴う設定は
セキュリティーの問題によりリモートデスクトップでは操作できません。
＊日本語入力の切り替えは、このウインドゥ内では、Ctrl+Space となります。
＊F8　Key で VNC ウインドウのメニューが表示されます。
＊終了する場合は VNC 内のメニュー、システム->Dlna のログアウトを選択してから Windows 内で VNC のウィンドウを閉じてください。
＊他に TigerVNC もクライアントとしての動作確認済みです。

②　Mac　OS X からのリモート接続

Mac から本機を操作する場合、お使いの Mac にて下記手順に従って必要なアプリケーションをインストールしてください。
常に本機を AV コンピューターとして TV/モニター、キーボードを接続し直接お使いになる場合は、Mac のソフトインストールは必要がありません。

リモートデスクトップ、VNC クライアント・インストール

a. Apple Store からソフトウェアを検索しダウンロードしてインストールしてください。
Remote Desktop

b. インストール後ソフトを起動すると下記のようなログイン画面が表示されます。
＊DHCP にて本機に割り当てられている IP アドレスと後ろに:5901 を入力します。
＊例）　192.168.0.104:5901　など 5 項で調べた IP アドレスで必ず入力する。

次に下記画面が表示されます。そのまま接続をクリックします。

次に下記画面が表示されます。「登録ユーザーとして」にチェックを入れ、パスワードに xxxxxx と入力して接続をクリックします。

リモートデスクトップのウィンドウが開き、HQPC の GUI が表示されます。

c. ログインが完了すると Mac のウィンドウに本機のデスクトップウィンドーが開き Mac の画面にてマウスとキーボードを用いてリモート・デスクトップをご利用いただけます

③ iPad からのリモートデスクトップによる操作

iPad/iPhone から本機 HQPC のリモートデスクトップによる操作を行う場合
App Store から VNC で検索し、VNC Viewer をインストールしてください。
VNC Viewr は無料です。

設定方法は、アプリを起動し画面右上のサーチの横の　＋をタッチして
開いたウインドウで　Address の項に HQPC の IP アドレス:5901 を入れます。
Name には HQPC と入力します。

例）　192.168.0.2:5901

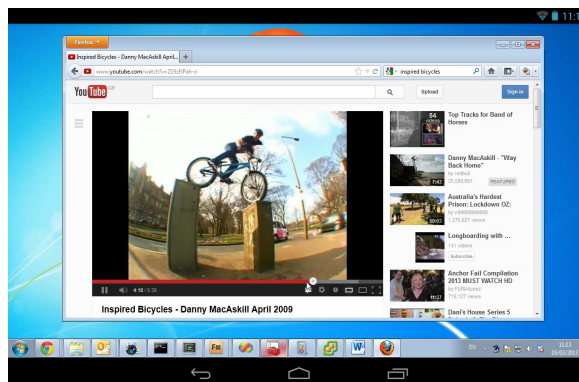
IP アドレスは XBMC の画面の[システム][システム情報]を開くと概要情報として
見る事ができます。

Save を押し設定情報を記録し画面が変わればConnect をタッチします。
Encryption 画面で再度右上 Connect をタッチします。
パスワードを聞いてきますので、xxxxxx と入力し右上 Done をタッチします。
HQPC の GUI が表示されます。

終了は画面中央上の[X]をタッチし、[Disconnect]をタッチします。

④　アンドロイド端末からも同様にお使いいただけます。

Google Play から VNC Viewr をインストールし設定してお使いください。

iCat INC.　　3550 Paradise Roard Suite 384 Las Vegas NV 89169 USA

10. ハードウェア

① メモリー増設、システム microSATA SSD 交換

本機のメモリー増設、システム microSATA SSD の交換は底蓋を開けて交換します。
4 つのネジを外し蓋を取り外します。
システムの micorSATA SSD はさらに子ネジ 1 個を取り外し、コネクターと反対側を 30 度ほど持ち上げて抜き差ししてください。　ネジを外す際は必ずネジ穴に合ったサイズのドライバーを用いてください。　ネジを締める際は、力を入れ締めないでください。

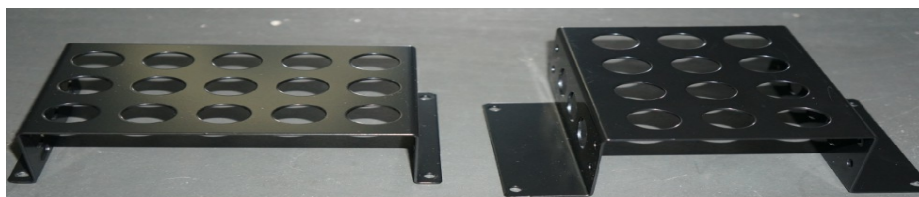
メモリー増設する際は必ず同じメモリー 2 枚をお使いください。　また本機のメモリーは 204pin 1.35V 動作の DDR3L-1600（PC3L-12800)を使用する必要があります。　メモリーコントローラーは音に影響します。　装着しているメモリーと同じメモリーをお使いください。

Windows 版から Linux 版への Option microSATA SSD はオプションにて設定予定。

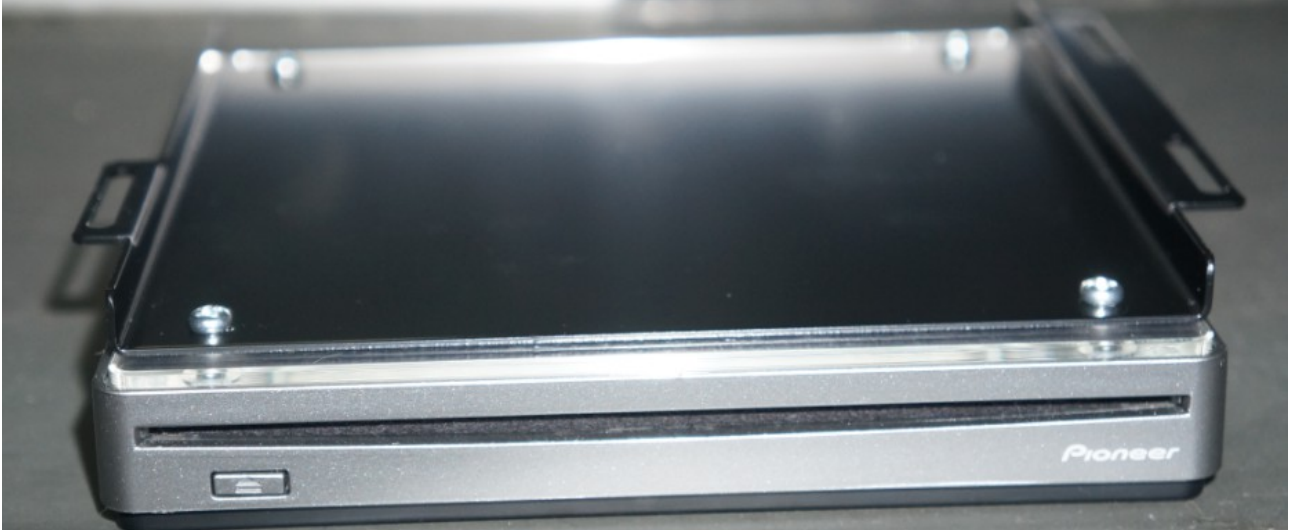
② DISK の増設、内蔵 HDD の交換

内蔵 2.5inch HDD を SATA3 接続にて 3.5inch 4TB HDD/ハイブリッド HDD などと交換し大容量化や高速化をする際は、オプションの 3.5 インチ HDD マウンター、低発熱サーバー用 HDD、AC アダプターのキットを使用することで可能です。本機は 3.5 インチ HDD をドライブするための 12V を内部から供給することはできません。

3.5 インチ HDD は発熱量が大きいので基本的には USB3.0 接続の外部 HDD をお勧めいたします。
またその時別途ドライブに対して AC アダプター等で給電してください。

2.5inch 外付け USB HDD・SSD は背面単独の USB3.0 端子に接続ください。
Windows・Linux の互換を考慮し、フォーマットは NTFS にて行ってください。

③　**BD ドライブの交換**

弊社採用ドライブもしくは他社製の BD/DVD/CD に交換を希望される方は、一般的なスロットインドライブに対応したマウントキットをオプションでご用意させて頂いております。

Elite モデル内臓 BD ドライブ　内部 USB3.0 接続

その他モデル　内臓 BD ドライブ、専用 SlimlineSATA-USB 変換 I/F 付　内部 USB2.0 接続

④　アナログ RCA タイプオーディオ出力端子

背面に RCA タイプのオーディオ出力端子の装着が可能なようにパネルに穴をあけております。ボード側 3.5φ 4 極ジャックと接続するケーブルを自作頂くことで背面からの RCA アナログ OUT も可能です。

穴径に応じた RCA 端子はオプション

⑤　本機は AC アダプターを用いずバッテリーにより 8.5 時間の使用が可能です。

オプションのバッテリーを使用することで、CD 連続再生でドライブが常に回転してる場合で 7.5 時間動作します。近隣の工場からのノイズや高圧鉄塔等からのノイズの回り込み、電源アースが不完全な環境等電源自体が優れない場合、バッテリー運用はノイズ対策に最適です。

この電源は電源電圧を変更でき大容量モバイルバッテリーとしてもお使いいただけます。

11. ハードウェア仕様

Digital Video Output

Avanced Hardware Video Transport	Full AVC/VC1/MPEG2 HW Decode
miniHDMI	1920 x 1200 @60Hz 24bpp HDMI 1.4a Spec
miniDisplayPort	3840 x 2160 @ 60Hz 24bpp DisplayPort 1.2 Spec

Audio Format	**miniHMDI**	**miniDisplayPort**
AC-3 - Doloby Digital	○	○
Dolby Digital Plus	○	○
DTS-HD	○	○
LPCM,192kHz/24bit,7.1ch	○	○
Dolby True HD, DTS-HD Master Audio (Lossless Blu-ray Disc Audio Format)	○	○

記録ディスク	BD	BD-R, BD-R DL, BD-R TL, BD-R QL, BD-RE, BD-RE DL, BD-RE TL	
	DVD	DVD-R※2, DVD-RW, DVD-R DL, DVD+R, DVD+RW, DVD+R DL, HighSpeed DVD＋RW ,DVD-RAM※3	
	CD	CD-R, UltraSpeed+CD-RW, UltraSpeed CD-RW, HighSpeed CD-RW, CD-RW	
再生ディスク (対応フォーマット)	BD	BD-ROM, BD-ROM DL, BD-R, BD-R DL, BD-R TL, BD-R QL, BD-RE, BD-RE DL, BD-RE TL	
	DVD	DVD-ROM, DVD-ROM DL, DVD-Video, DVD-R, DVD-RW, DVD-R DL, DVD+R, DVD+RW, DVD+R DL, DVD-RAM※3	
	CD	CD-ROM, CD-ROM XA, Photo CD,Video CD, CD-DA, CD-Extra, CD-Text, CD-R, CD-RW	
インターフェース	USB 3.0		
書き込み速度※4	BD	-R	6X, 4X, 2X
		-R DL	6X, 4X, 2X
		-R(LTH)	6X, 4X, 2X
		-R TL	4X, 2X
		-R QL	4X, 2X
		-RE	2X
		-RE DL	2X
		-RE TL	2X
	DVD	-R	8X, 6X, 4X, 2X, 1X
		-RW	6X, 4X, 2X, 1X
		-R DL	6X, 4X, 2X
		+R	8X, 6X, 4X, 2.4X
		+RW	8X, 6X, 4X, 2.4X
		+R DL	6X, 4X, 2.4X
		-RAM	5X, 3X, 2X
	CD	-R	24X, 16X, 10X, 4X
		-RW	24X, 16X, 10X, 4X
読み出し速度	BD-ROM/R/RE (1 層ディスク)	Blu-ray 映画再生時※5：2X データ転送時：6X Max	
	BD-ROM/R/RE (2 層ディスク)	Blu-ray 映画再生時※5：2X データ転送時：6X Max	
	DVD-ROM (1 層ディスク)	DVD-Video 再生時：5X Max データ転送時：8X Max	
	DVD-ROM (2 層ディスク)	DVD-Video 再生時：5X Max データ転送時：8X Max	
バッファーメモリサイズ	4 Mbyte		

12. 保証規定

本製品はお買い上げの日から1年の間に故障が発生した場合には下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中に取扱説明書、本製品添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で本製品のハードウェア部分が故障した場合には、当社は、本規定に従い、無料で修理（当社の判断に基づく本製品の全部または一部の交換を含み、以下同じとします）を行います。修理をご依頼される場合は、必ず本保証書を本製品にご添付ください。なお、本保証書は再発行いたしませんので大切に保管ください。
2. 本製品の修理を希望される場合は、本保証書表面記載の修理受付窓口までご連絡ください。修理受付窓口にて故障の現象やご使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行います。

    （1） 持込修理を希望される場合は、お買い上げの販売店／販売会社へご持参ください。

    （2） 故障した本製品をお客様にて宅配業者を使用して弊社指定場所にお送りください。当社にて修理完了後、ご指定場所までお届けします。
3. 保証期間中でも、次のような場合には、有料修理となります。

    （1） 本保証書が本製品に添付されていない場合

    （2） 本保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合

    （3） 使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または誤接続による故障・損傷の場合

    （4） 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合

    （5） 有寿命部品や消耗品（バッテリ、乾電池等）の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合

    （6） 接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアのご使用に起因して本製品に生じた故障・損傷の場合

    （7） お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合

    （8） お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、マザーボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合

    （9） お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合。（例： miniHDMI,miniDP、LAN 端子等に極太の硬いケーブルを指し、ケーブルによる負荷がかかり端子が変形、破損した場合、動物のマーキングによる機材の腐食、埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入による故障、アンプ等の上に設置した為の熱トラブル等)

    （10） 一部の訪問修理可能な機種について、お客様が訪問修理を希望された場合。（訪問経費は有料となります。）
4. 本製品のハードウェア部分に起因しない不具合（例：本製品にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等）に関しては、本保証書の適用外となります。
5. 修理の際に使用する補修用性能部品は、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品を含む）とします。また、修理のために本製品から取り外した故障部品につきましては、再生、再利用に努めておりますので、お客様には返却いたしません。
6. 本製品の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容の消失、破損、変更等につきましては、当社は一切責任を負いません。お客様は、修理をご

依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）

7. 修理をご依頼される場合には、記録媒体、接続ケーブル、ならびに本保証書の対象とならない部品・添付品等を事前にお客様の方で本製品からお取り外しください。当社では、これらの管理につき一切責任を負いません。
8. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

- ※本保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
-
- ※保証期間終了後の修理等、アフターサービスについてご不明な点は、修理受付窓口またはお買い上げの販売店／販売会社へメールにてお問い合わせください。

ICAT Inc. Japan
株式会社ＤＥＥ
support@digital-ee.com

ユーザー登録は下記 URL の新規会員登録にて登録頂けますようお願い致します。

http://ms00372014.my-store.jp/

13. ソフトウェア使用許諾契約

あらかじめ下記項目をご確認のうえ、本システムのシステム・ソフトウェア・プログラム（以下、「本プログラム」といいます。）についての、弊社からお客様への使用許諾に関する条件を定めるものであり、システムを起動したときお客様が下記項目による使用許諾契約（以下、「本契約」といいます。）を承諾したものとみなされるものとし、本契約がお客様と弊社間で成立するものとします。

輸出管理

本プログラムには、アメリカ合衆国の輸出関連法令及びその他関連日本国および地方自治体の輸出法令が適用されます。 お客様は、かかる輸出管理法令がお客様による（技術データを含む）本プログラムの使用や、本契約に基づいて提供されるサービス配布物に適用されることに同意し、又（「みなし輸出」及び「みなし再輸出」に関する規制を含め）かかる輸出関連法令をすべて遵守することに同意します。 お客様は、サービス（又はサービスの直接的成果）から生じるデータ、情報、及び/又は資料を、直接的にも間接的にもかかる輸出管理法令に違反して輸出することなく、又かかる輸出管理法令によって禁止されている、核兵器、化学兵器もしくは生物兵器の拡散、又はミサイル技術の開発等を含む如何なる目的にも使用しないことに同意します。

因って、お客様は以下の点を確認するものとします。

－お客様は、直接的にも間接的にも、関連法令によって禁止されている国及び対象者に対して、本プログラムのコピー、提供、供与、輸出もしくは再輸出を行わないこと。
－お客様は、アメリカ合衆国財務省のリストにおいて“Specially Designated Nationals and Blocked Persons”、“Specially Designated Terrorists”、又は、“Specially Designated Narcotic Traffickers”として指定されていないこと、又、アメリカ合衆国商務省のリストである“the United States Department of Commerce Table of Denial Orders”に記載されていないこと。
- お客様は、直接的にも間接的にも、上記リスト記載者に対して、本プログラムをコピーし、輸出もしくは再輸出しないこと。
- お客様は、法律により禁止される目的（大量破壊兵器である核兵器、化学兵器、生物兵器の開発、設計、製造を含みますがこれに限定されません）のために本プログラムを使用し、使用させないこと。

【OEM、評価、販売の場合】OEM 先、評価先、販社先従業員は、いかなる場合においても、顧客にソフトウェアを頒布するために、これを COPY する権限を与えられておりません。本製品を関連従業員が使用することができるのは、社内での使用またはデモンストレーション目的の場合のみです。アメリカ合衆国その他の国々の適用法令を遵守すべく、上記ポリシーに反する行為は、訴訟もしくは処分を受ける場合があります。

本プログラムを使用する前に、以下のライセンス契約の条件をよくお読みください。本条件は、お客様と ICAT 社との法的契約を構成するものです。

ICAT License Agreement

「**ICAT**」とは、ICAT Inc.及びその子会社・関連会社をいいます。「**お客様**」とは、本プログラムを使用することを希望する者をいいます。「**本プログラム**」とは、お客様が製品内部のシステムソフトウェア（将来、当該製品に提供されるアップデート及び/又は追加ソフトウェア・パッケージを含みます）と、関連プログラム・ドキュメンテーションをいいます。「**本ライセンス**」とは、本条件に従って本プログラムを使用するお客様の権利をいいます。本契約は、法の抵触に関する規定を除き、ネバダ州法に準拠するものとします。本契約にかかわる紛争の一切は、ネバダ州またはラスベガスの裁判

所を専属管轄とするものとします。

本プログラムを使用するためには、本ライセンス契約に同意しなくてはなりません。本ライセンス契約に同意できない場合は、本プログラムを使用することはできません。

権利及び制限
お客様に使用権を許諾する同梱のソフトウェア・パッケージ又はお客様固有のデーターファイルを除き、ICAT は、お客様に対して、お客様のアプリケーションの開発、検査、プロトタイピング、及びデモンストレーションのみを目的として、本プログラムを使用する永続的（本契約の規定に従って終了しない限り）、非独占的、譲渡不能かつ限定的な使用権を許諾します。
上記で明示的に付与されていない権利はすべて留保されます。本プログラムの頒布、又は社内外の事業目的（お客様のアプリケーションの開発、検査、プロトタイピング、及びデモンストレーション以外）もしくは事業目的による本プログラムの使用を含め（ただし、これらに限定されません）、本契約で認められている目的以外の目的で本プログラムを使用することを希望する場合、これらの適切な使用権を取得しなければなりません。本プログラムの設定ファイルを含む一切の情報開示は許可していません。ICAT は、お客様による本プログラムの使用を監査することができます。

第三者のテクノロジー
本プログラムは第三者のテクノロジーを含むか、又は第三者のテクノロジーとともに配布される場合があります。ICAT 社は、かかる第三者のテクノロジーに関する通知を、プログラム・ドキュメンテーション、もしくは本プログラムに付属する readme ファイル又は通知ファイルに表示する場合があります。
第三者のテクノロジーは、本契約条件に基づき、又はプログラム・ドキュメンテーション、readme ファイル、その他の書面に明記されている場合は、本契約条件ではなく、個別のライセンス条件（以下「個別条件」といいます）に基づき、お客様に使用権が許諾されます（以下「個別ライセンスによる第三者のテクノロジー」といいます）。個別条件に基づき、個別ライセンスによる第三者のテクノロジーを使用するライセンシーの権利は、いかなる方法によっても、本契約により制限または変更されることはありません。

情報収集及び登録
構成データ及び登録：本プログラムは構成データを ICAT に伝達する場合があります。

所有権及び制限
本プログラムに関わる所有権ないし知的財産権はすべて ICAT に帰属します。本プログラムは一台のコンピューター機器にのみ使用することができ、ICAT が特定したハードウェア環境において使用できます。本プログラムの複製は、バックアップ・コピーのために、一部のみ作製できます。

お客様は、以下の行為をすることができません。
- 社内外、個人の目的で以下のケース（アプリーケーション開発、評価、検査、プロトタイピング、及びデモンストレーション以外）もしくは事業目的で本プログラムを使用すること
- ICAT の財産権の表示や通知を除去又は変更すること
- 方法の如何を問わず、本プログラムを第三者に取得・利用させること
- 本プログラムを許可なく第三者の教育目的に使用すること、WEB での情報提供ならびに執筆活動に利用すること
- 他の個人又は団体に対して、本契約を譲渡すること、又は本プログラムもしくはその所有権を提供もしくは譲渡すること
- 本プログラムのリバース・エンジニアリング(相互運用性確保のために法律により要求される場合を除く)、逆アセンブリもしくは逆コンパイルをすること、特定の設定ファイルを調査すること
- ICAT の事前承諾なく、プログラムのベンチマークテストの結果を開示すること

輸出
技術データを含む本プログラムの使用に対して、アメリカ合衆国の輸出管理規制法その他輸出入関連法規(以下、総称して「輸出関連法規」といいます。）が適用されます。お客様は、本プログラム及びその直接的製品を、直接的にも間接的にも輸出関連法規に違反して輸出することはできず、また、輸出関連法規によって禁止される目的(核兵器、化学兵器、生物兵器の拡散を含みますがこれに限定されません）のために使用することはできません。

保証、免責及び唯一の救済措置
本プログラムは現状有姿で保証なしで提供されるものとします。ICAT は、明示であると黙示であるとを問わず、一切の保証責任（商品適合性の黙示の保証、特定目的への適合性の保証、非侵害保証を含むがこれに限定されません。）を負いません。

ICAT は、お客様または第三者が被った間接損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害又は結果的損害について、あるいは、逸失利益、売上の喪失、データ又はデータの使用機会の喪失について、契約責任に基づくものであると不法行為責任に基づくものであるとを問わず、また、お客様から損害発生の可能性を通知されていた場合であっても、何ら責任を負わないものとします。

テクニカル・サポート
ICAT は、本契約に基づき許諾された本プログラムについて、弊社が動作保証を提示している環境を除きお客様固有の環境化におけるテクニカル・サポート、電話でのサポート、お客様に起因するトラブル解決およびその解決目的のプログラムのアップデートの提供は行いません。

契約の終了
お客様は、本契約に基づいて提供された本プログラムの複製をすべて消去することによって、本契約を終了することができます。ICAT は、お客様が本契約に違反した場合、違反の内容程度の如何にかかわらず、本契約を終了することができます。この場合、お客様は本契約に基づいて提供されたプログラムの複製をすべて消去するものとします。ただしハードウェアの所有ならびに使用権に言及するものではありません。

当事者の関係
お客様と ICAT との関係は、ライセンシーとライセンサーの関係であるものとします。いずれの当事者も、相手方当事者に代わってこれに義務を負わせる権限を有することを表明することはできず、または、相手方当事者の代理人、使用人、フランチャイズ加盟店その他の資格を有する者であることを表明することはできません。

オープンソース・ソフトウェア
オープンソース・ソフトウェア（以下「OSS」といいます。）とは、無償で使用、変更、頒布することができるソフトウェアであり、多くの場合ユーザーによる変更義務を負わせる条件の下にライセンスされるもの、または、ユーザーがソースコードの形態で無償で入手可能なオープンソース・ソフトウェアと組み合わせたソフトウェアをいいます。お客様が OSS を本プログラムとともに使用する場合（又は、オープンソース・ライセンスに基づきお客様のアプリケーションの使用許諾を予定している場合）、お客様は以下の義務を負うものとします。お客様による使用により、(i)ICAT が保有するプログラム（以下「ICAT プログラム」といいます。）につき、義務や責任をなんら発生させないこと、(ii)第三者に対して、ICAT プログラムの知的財産権その他の権利、または、免責特権を付与しないこと。例えば、オープンソース・プログラムのライセンス条件が変更を無償で許諾するものである場合、お客様は、ICAT のプログラムとオープンソース・プログラムを使用して双方のプログラムのコードを含むプログラム・ファイル（ライブラリーがその例ですが、これに限定されるものではありません）を開発することはできません。お客様は、ICAT プログラムと GNU General Public License（以下「GPL」といいます。）に基づくプログラムとを組み合わせることにより、ICAT プログラム及びその変更物に対して GPL の条件が適用される事態を招くこと、またはその危険を生じさせることはできません。

完全合意
お客様は、本契約が本プログラム及び本ライセンスについての完全かつ唯一の合意を構成し、本契約は本契約締結時点以前になされたすべての合意や意思表示に取って代わることに同意します。 本プログラムに含まれているか、付属するその他のライセンス条件は適用されません。本条件の一部が無効または強制執行不能であることが判明した場合であっても、他の条項は有効に存続するものとします。

最終更新日： 2014 年 02 月 20 日

本契約についてのご質問、お問い合わせは、以下宛に書面でご連絡ください。

ICAT Inc.

3550 Paradaise Road Suite 384

Las Vegas, NV 89169 USA

ICAT は、お客様の使用の満足度を調査するため、お客様に連絡する場合があります

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the

software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS

0. Definitions.

"This License" refers to version 3 of the GNU General Public License.

"Copyright" also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

"The Program" refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as "you". "Licensees" and "recipients" may be individuals or organizations.

To "modify" a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a "modified version" of the earlier work or a work "based on" the earlier work.

A "covered work" means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To "propagate" a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To "convey" a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not

conveying.

An interactive user interface displays “Appropriate Legal Notices” to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

1. Source Code.

The “source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. “Object code” means any non-source form of a work.

A “Standard Interface” means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The “System Libraries” of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A “Major Component”, in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The “Corresponding Source” for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all

material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.
- b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to “keep intact all notices”.
- c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.
- d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger

program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an “aggregate” if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

- a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.
- b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.
- c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.
- d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.
- e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A “User Product” is either (1) a “consumer product”, which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, “normally used” refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

“Installation Information” for a User Product means any methods, procedures, authorization keys,

or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.

"Additional permissions" are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

- a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or
- b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or
- c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or
- d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or
- e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or

- f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered “further restrictions” within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the

original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An “entity transaction” is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.

A “contributor” is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's “contributor version”.

A contributor's “essential patent claims” are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, “control” includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a “patent license” is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To “grant” such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. “Knowingly relying” means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is “discriminatory” if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

12. No Surrender of Others' Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License “or any later version” applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a

later version.

15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively state the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year>  <name of author>

This program is free software: you can redistribute it and/or modify
it under the terms of the GNU General Public License as published by
the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or
(at your option) any later version.
```

```
This program is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.  See the
GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License
along with this program.  If not, see <http://www.gnu.org/licenses/>.
```

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program does terminal interaction, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
<program>  Copyright (C) <year>  <name of author>
This program comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, your program's commands might be different; for a GUI interface, you would use an “about box”.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program, if necessary. For more information on this, and how to apply and follow the GNU GPL, see< http://www.gnu.org/licenses/>.

The GNU General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License. But first, please read< http://www.gnu.org/philosophy/why-not-lgpl.html>.

Legal Info

This program makes use of the following libraries and packages:

- Apple's Bonjour v107.3 licensed under the Apache 2.0 License
- Fabrice Bellard's FFmpeg, licensed under the GPL License
- D. Richard Hipp's SQLite database, dedicated to the public domain
- Underbit Technologies' libid3tag, licensed under the
- Jean-loup Gailly and Mark Adler's zlib, licensed under the zlib license
- Josh Coalson's libFLAC, licensed under the Xiph (BSD 3-clause) License
- xiph.org's libOgg, licensed under the Xiph (BSD 3-clause) License

No Warranty

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER

PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

MediaTomb Copyright

Copyright© 2005

Gena Batyan <bgeradz at mediatomb dot cc>

Sergey Bostandzhyan <jin at mediatomb dot cc>

Copyright© 2006-2010

Gena Batyan <bgeradz at mediatomb dot cc>

Sergey Bostandzhyan <jin at mediatomb dot cc>

Leonhard Wimmer <leo at mediatomb dot org>

License

MediaTomb is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation. MediaTomb is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details. You should have received a copy of the GNU General Public License version 2 along with MediaTomb; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Rhythmbox

利用条件または商標

14. 商標

MsHD,AVCloud は米国 ICAT Inc の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

ASIO is a registered trademark of Steinberg Media Technologies GmbH

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

登録商標 Linux は、全世界における商標保持者 Linus Torvalds 氏から排他的ライセンスを受けている LMI (Linux Mark Institute) からの許諾により使用しています。

VideoLAN, VLC, VLC media player and x264 are trademarks owned by VideoLAN.

VideoLAN, VLC, VLC media player and x264 are trademarks internationally registered by the VideoLAN non-profit organization.
Software are licensed under open-source licenses. Use and distribution are strictly defined by each software license.

XBMC
Any of the trademarks, service marks, collective marks, design rights or similar rights that are mentioned, used or cited in the services provided for XBMC are the property of their respective owners. Their use in any XBMC service does not imply that you may use them for any other purpose other than for the same or a similar use as contemplated by the original authors of content provided by these services under the CC-BY-SA licensing scheme. Unless otherwise stated XBMC are neither endorsed by nor affiliated with any of the holders of any such rights and as such XBMC cannot grant any rights to use any otherwise protected materials. Your use of any such or similar incorporeal property is at your own risk.

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

BlueMoon, BunnyPeople、Celeron、Celeron Inside、Centrino、Centrino Inside、Cilk、Core Inside、 E-GOLD、Flexpipe, i960、インテル、インテルロゴ、the Intel Anti-Theft technology logo、インテル AppUp、インテル Atom、Intel Atom Inside、インテル Core、Intel Inside、Intel Insider、Intel Inside ロゴ、Intel NetBurst、Intel NetMerge、Intel NetStructure、インテル SingleDriver、Intel SpeedStep, 、インテル次のオドロキ つくってる。ロゴ、Intel StrataFlash、インテル vPro、Intel XScale、InTru、InTru ロゴ、InTru Inside ロゴ、InTru 音標、Itanium、Itanium Inside、MCS、MMX、Moblin、Pentium、Pentium Inside、Puma、skoool、skoool ロゴ、 SMARTi、Sound Mark、Stay With It、The Creators Project、The Journey Inside、Thunderbolt、Ultrabook、vPro Inside、VTune、Xeon、Xeon Inside、 X-GOLD、 XMM、X-PMU、 XPOSYS は、米国およびその

他の国における Intel Corporation の商標です。

Windows® operating system

- Apple、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
  iPhone、iPad、iTunes および Multi-Touch は Apple Inc.の商標です。

  Google および Google ロゴ、Android および Android ロゴ、Google Play（旧 Android マーケット）および Google Play ロゴ、Gmail および Gmail ロゴ、Picasa および Picasa ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴ、Google マップ ナビ および Google マップ ナビ ロゴ、Google Earth および Google Earth ロゴ、Google 検索 および Google 検索 ロゴ、Google 音声検索 および Google 音声検索 ロゴ、Google ゴーグル（日本語未対応） および Google ゴーグル ロゴ、Google バズ および Google バズ ロゴ、Google Sky マップ および Google Sky マップ ロゴ、Google トーク および Google トーク ロゴ、Google+ ローカル（旧 Google プレイス）および Google+ ローカル ロゴ、Google Latitude および Google Latitude ロゴ、Google カレンダー および Google カレンダー ロゴ、Google ウォレット および Google ウォレット ロゴ、Google ドキュメント および Google ドキュメント ロゴ、Google Apps for Business は、Google Inc.の商標または登録商標です。

- HDMI 、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。

- DLNA は登録商標です。Digital Living Network Alliance は、デジタル リビング ネットワーク アライアンスのサービスマークです。

- PlayStation、PSP は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Japan VCCI Statement

Japan VCCI Statement translation: This is a Class B product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference from Information Technology Equipment (VCCI). If this is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

iCat INC. 3550 Paradise Roard Suite 384 Las Vegas NV 89169 USA